

第 46 回  
荒川区政世論調査  
《報告書》

令和 4 年 4 月  
荒 川 区



## はじめに

荒川区では、「区政は区民を幸せにするシステムである」というドメイン（事業領域）の下、区民一人ひとりが真に幸福を実感できるまちを目指し、さまざまな施策を積極的に展開しております。

区政運営のための指針づくりや、施策を行う上で大切なことは、区民の皆様の意見・要望を適切に把握・分析した上で、区民が真に望む区政を運営していくことです。そのため、区では、世論調査をはじめ、区民の声（手紙、電子メール、FAX等）、あらかわ・Eモニターなどの各種広聴活動を積極的に実施しています。

今年度の世論調査では、「居住と生活環境」「多様性の推進」「地域とのつながり・暮らし」「防災対策」「生涯学習活動」「環境問題」「喫煙マナー」「子どもの権利」「区政への関心と要望」の9項目について伺いました。

この調査によって得られた結果は、すべての区民の皆様に幸福を実感していただける、よりよい区政運営のための基礎資料として活用してまいります。併せて多くの皆様に参考にしていただければ幸いです。

おわりに、この調査にご協力くださいました区民並びに関係者の皆様に厚くお礼申し上げます。

令和4年4月

荒川区区政広報部秘書課



# 目 次

I	調査の概要	1
II	回答者の属性	7
III	質問と回答	13
IV	調査結果の要約	31
V	結果と分析	39
1.	居住と生活環境	41
(1)	居住年数	41
(2)	定住意向	43
(2-1)	住み続けたい理由	46
(2-2)	転居したい理由	47
(3)	住みよさ評価	48
(4)	まちづくりを進めていく上で重要な課題	51
2.	多様性の推進	53
(1)	性的マイノリティ（性的少数者）やLGBT（LGBTQ）の認知度	53
(2)	性的マイノリティ（性的少数者）の人権を尊重するために必要な取組	56
3.	地域とのつながり・暮らし	59
(1)	地域の行事や活動への参加頻度	59
4.	防災対策	64
(1)	災害時にトイレを使用することで汚水があふれたり逆流する危険があることの認知度	64
(2)	脱水症状やエコノミークラス症候群の危険性の認知度	67
(3)	災害用トイレの備蓄の量	70
(4)	「通電火災」の認知度	73
(5)	感震ブレーカーの設置状況	76
(6)	設置・購入したい感震ブレーカーのタイプ	79
(7)	「荒川区防災アプリ」のダウンロード状況	82
(7-1)	「荒川区防災アプリ」のダウンロードの必要性を感じない理由	86
5.	生涯学習活動	89
(1)	この1年間の学習・活動回数の変化	89
(1-1)	この1年間の学習・活動の方法	91
(1-2)	学習・活動の回数が減少した、学習・活動しなかった理由	94
(2)	学習・活動への参加動機	96
(3)	今後どのような学習・活動をしたいか	98
(4)	学習・活動を行う目的	101
(5)	学習・活動をしやすい曜日、時間帯	103
(6)	学習・活動に関する情報収集方法	105
(7)	学習・活動の推進のため、充実・拡大すべき取組	107

6.	環境問題	109
	(1) 最も解決すべき環境問題	109
	(2) 環境を考えて取り組んでいること、または今後取り組むこと	112
	(3) 環境対策として充実・拡大すべき取組	115
	(4) 最も深刻だと思ふ地球温暖化による影響	118
	(5) 「脱炭素社会」という言葉の認知度	121
	(6) 「脱炭素社会」の実現に向けた各家庭での取組	123
	(6-1) 取り組みたいと思わない理由	126
	(7) 「脱炭素社会」の実現に向けての取組	129
7.	喫煙マナー	132
	(1) 喫煙の有無	132
	(2) 区内の喫煙ルールの認知度	135
	(3) 路上喫煙禁止地区における行動や考え方	138
8.	子どもの権利	141
	(1) 児童に関する権利条約（子どもの権利条約）の認知度	141
	(2) 子どもの人権・権利	145
	(3) 子どもの人権・権利を守るために大人がすべきこと	149
	(4) 子どもの人権・権利を守るために力を入れるべき取組	154
9.	区政への関心と要望	159
	(1) 区政への関心	159
	(2) 区政への意見・要望などの伝達方法	162
	(3) 今後、区に力を入れてほしい事業	164
VI	自由記述	173
VII	集計表	193